

(仮称)

## うらやす復興祭の開催

東日本大震災で被災した地域の復興と活性化を図るため、うらやす復興祭を開催します。

【問】うらやす復興祭事務局(商工観光課内)

**時** 10月8日(土)～10日(祝)  
※時間は未定。決定しだい、お知らせします

**所** 総合公園など

## 内容

## マーチングパレード

市内・東北地方の高校、各音楽隊、コールドストリーム・ガーズバンドなどが出演

## ステージパフォーマンス

市内・東北地方などの方が出演

## グルメ・物産店

市内ホテル・飲食店、東北地方などの出店

※そのほか特別企画あり

## 出演者募集

## ステージパフォーマンスの出演

**対象** 市内で活動している団体、15団体程度

**内容** メインステージを利用したパフォーマンス。出演時間は30分以内。1団体1回のみ。事業PRなどの出演は不可

**申込** 8月31日(水)午後5時までに、申込用紙《8月22日(月)から、商工観光課(市役所本庁舎4階)・商工会議所で配付》を、直接、商工観光課へ  
※多数は抽選。開催時間や内容など、一部変更する場合があります

## 市内52地点で放射線量の簡易測定を実施しました

市では、市内52地点(全市立小学校、幼稚園、保育園と公園8地点)で放射線量の簡易測定を7月1日から実施しています。その結果、すべての地点で福島県内の学校の校舎・校庭などの利用判断の暫定的な目安である毎時3.8マイクロシーベルト(4月19日文科科学省発表)や、放射線量低減のための土壌対策の対象となる毎時1マイクロシーベルト(5月27日文科科学省発表)を下回りました。なお、今後も毎週10カ所程度ずつ簡易測定を継続していく予定です。結果の詳細は、市ホームページをご覧ください。

【問】環境保全課

## 放射線



独立行政法人放射線医学総合研究所に聞きました

**Q1** 現在の市内における大気中の放射線量は、どのような状況ですか

**A** 平常時の大気中における放射線量は、地上100センチメートルで毎時0.05～0.10マイクロシーベルト程度となっています。そのため、8月2日時点での浦安市の放射線量(高さ100センチメートルの平均で毎時0.17マイクロシーベルト)は、平常時よりやや高めになっています。これは福島第一原子力発電所(以下福島原発)の事故直後に風に乗って飛来した放射性物質が、雨によって地上に落ち、土壌に付着していることが原因です。

**Q2** 現在も福島原発から放射性物質が飛来してきているのですか

**A** 現状では、福島原発からの放射性物質の放出はほぼ止まっていますので、千葉県までの飛来はありません。実際に、千葉県市原市のモニタリングポスト※では、5月18日以降に降下物が検出されていない状況であり、市内における大気中の放射線量は、時間の経過とともに下がる傾向にあります。  
※モニタリングポストとは…文科科学省が放射線を定期的・連続的に監視測定するために設置した装置。千葉県内では市原市の県環境研究センター内の1カ所に設置

**Q3** 現状の放射線量で健康への影響はありますか

**A** 現状の市の放射線量で健康に影響があるとは考えられません。国際放射線防護委員会では、「100ミリシーベルトの被ばくで、がんの死亡率が0.5%上昇する」と推計していますが、それ以下の被ばくでは、がんの死亡率が上昇するかどうかは科学的に実証されていません。

**Q4** 幼稚園や公園などの砂場は、周りに比べて放射線量が高いと聞きますが本当ですか。外部被ばくもそうですが、こどもが砂を飲み込んでしまった場合の内部被ばくも心配です

**A** ほかの場所に比べて、砂場という条件だけで放射線量が高くなることはありません。また、万が一、砂をなめたり飲み込んだりしてしまっても、放射性物質は砂に吸着したまま消化されずに排泄されますので、内部被ばくを引き起こすことはありません。

**Q5** そのほかにも放射線量が周りに比べて高い場所があると聞きますが、何か注意しなければいけないことはありますか

**A** 現状で市内に存在する放射性物質は、セシウム134とセシウム137の2種類で、どちらも水に溶けやすく、土壌に付着しやすい性質をもっています。そのため、雨どいの下や側溝など、雨の後に泥が貯まるような場所は、周りに比べて放射線量が高くなる可能性があります。しかし、あくまで校庭などの中心付近で測定した数値と比べて高くなる程度で、そのような場所に長時間いることは基本的にないと考えられるため、特に注意は必要ありません。

## 放射能についての講演会

【時】8月28日(日)午後7時～8時30分(開場=午後6時30分)

【所】文化会館

【定員】当日先着1300人

【内容】放射線のひみつ～放射線が人体に及ぼす影響ってなに《中川恵一氏(東京大学医学部附属病院放射線科准教授)》

【問】健康増進課